

災害用バルク設置事例（9） ニチイケアセンター松本寿（長野県）



右から
ニチイ学館清水係
長、森センター長、
サンリン大野課長、
須澤塩尻支店長

ニチイケアセンター



（株）ニチイ学館（東京・千代田区）が運営する、トータル介護施設。全国に拠点があり、提供内容は各施設で異なる。



災害時も暖かさの確保を…給湯器、床暖房用のエネルギーを備蓄

ニチイケアセンター松本寿では給湯器、床暖房にガスを常時使用。特に風呂場の脱衣所の床暖房は重要で、入浴後に利用者が気温の変化で体調を崩さないよう気配りを行っている。

入居者が集まるダイニングも、床暖房の常時使用によりかなり暖かい。寒冷地のため「床暖房が無い状況は、想像もできない」（森センター長）。災害時には、まずは暖かさの確保が第一である。

今回はサンリン担当者の推薦で、災害用バルクを設置。万々に備え、エネルギーを備蓄できるようにした。



食事やレクリエーションを行うダイニング

災害用バルクの今後の活用

- ・年2回防災訓練があるので、いずれは近隣にも声をかけて、炊出しなどでバルクを使用してみたい。使用方法も覚えたい。（森センター長）
- ・夏から秋にかけて、全国で「ニチイまつり」を開催予定なので、可能であれば活用したい。（清水係長）



広い浴場には給湯器が不可欠
入浴を楽しみにしている利用者が多い

補助事業者

T&Dリース株式会社

（東京都港区浜松町1-9-10）

設置、管理するガス事業者

サンリン株式会社

（長野県東筑摩郡山形村下本郷 4082-3）

設置先

ニチイケアセンター松本寿

（長野県松本市寿中 1-5-33）

平成21年10月設置

メーカー/機種

富士工器株式会社/JUS10N2

（1000kg貯蔵）



設置場所

建物に隣接した駐車場。燃焼機器は建物を隔て反対側の倉庫に保管。

ニチイケアセンター松本寿（平成17年設立）では、介護認定されている人の自立支援、入浴・食事サービスなどを提供している。要望により、ナイトケアを行う場合もある。1日の利用者は約40人。今回は松本寿の他にも、長野県内4カ所のケアセンター（おかや、みよた、まめじま、長野）に、同時期に災害用バルクを設置。

100人×3日分の エネルギーを確保



災害用バルクと同時に導入された炊き出し用の5升炊き炊飯器とコンロ（ニチイケアセンター松本寿保管）

今回設置された1000kg容量のバルクに半分量のガスが残っていた場合、災害時に約100人の被災者が調理・入浴・暖房などに3日間利用可能。設置先施設の利用者だけでなく、近隣住民に対しても、災害発生時の初期対応に貢献できる。